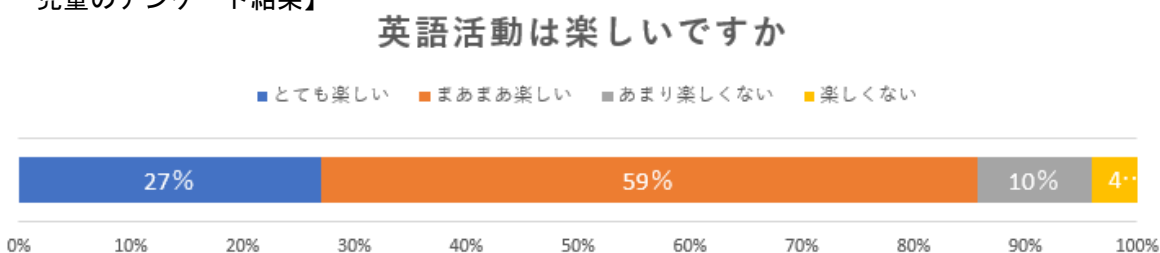


1 成果

(1) 自己評価結果と英語活動での取り組み

英語タイムになると各教室から一斉に「OK - English!」の音声が聞こえ、楽しそうに体を動かしながら、英語を発声する子供たちの様子が見られます。3、4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「楽しい」・「とても楽しい」と回答した児童は、全体の86%でした。このことから、本校の多くの児童は、楽しみながら英語活動を行っているといえます。

【資料1 児童のアンケート結果】



外国語活動の時間には、「Do you like ~?」を使って、友達と何が好きか伝え合いました。(資料3) 英語は難しいと感じている児童も、繰り返す中で、進んでこの表現を使うようになり、笑顔が見られました。

【資料2 英語タイムの児童の様子】



【資料3 何が好きか、友達と伝え合う】



(2) 学校関係者評価意見

英語活動に関する保護者の声として、「子供が、英語に対する抵抗なく、とても楽しそうに行っていてよい。」「英語の歌が楽しいと子供が話してくれました。家でも踊りながら、歌っています。」と好意的な意見をいただいています。

2 まとめ

英語活動で、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するには、「自分の思いが英語で伝わった」「相手が何を伝えたいかが分かる」などの経験が必要であると考えます。DVDの中ではネイティブスピーカーが身近で具体的な事柄を取り上げ、視聴する児童に語りかける内容になっているので、児童と一緒に声を出したり、体を動かしたりして楽しみながら参加することができます。毎日10分の英語活動により、児童にとって英語がより身近なものになっています。